



絵画、
演劇、
映画を
越境する
個性

甲斐荘
楠音の



KAINOSHO Tadaoto:
Crossing Boundaries in Nihonga, Theater and Film
The National Museum of Modern Art, Kyoto

KAINOSHO Tadaoto:
Crossing Boundaries in Nihonga, Theater and Film
The National Museum of Modern Art, Kyoto

開館60周年記念

甲斐荘
楠音の

京都国立近代美術館
岡崎公園内

文化力



絵画、
演劇、
映画を
越境する
個性

甲斐荘
楠音の

2.11 sat. 4.9 sun.



開館時間 午前10時〜午後6時(金曜日は午後8時まで) ※入館は開館の30分前まで / 休館日 月曜日 / 主催 京都国立近代美術館、日本経済新聞社、京都新聞 / 協賛 高砂香料工業 / 特別協力 東映、東映太秦映画村 / 協力 国際日本文化研究センター、京都日本文化資源研究所



彼の後半生は、京都太市川右太衛門のため代劇の衣裳考証・風俗考証を手がけ、娯楽映画に芸術性を添えた映画人としての活躍にうって彩られています。今回の展覧会では、日本画家ら甲斐荘という芸術家に迫ります。彼の肉体の生を捉えることへのこだわりや芝居の情熱にも改めて着目し、演じること・扮することへの関心の表出として

彼の芸術の全体像を見詰め直してみたいと考えています。



大正から昭和にかけて活躍した京都の日本画家、甲斐荘または甲斐庄楠音(1894-1978)の回顧展を当館が開催するのは、1997年に続いて2度目となります。四半世紀前の展覧会は、国画創作協会の個性派として活躍し、美醜を併せ呑んだ人間の生を描いて脚光を浴びた時期の名作を中心に、彼の初期から晩期まで日本画家としての生涯を、見ただく内容でした。しかし

彼の芸術の全体像を見詰め直してみたいと考えています。

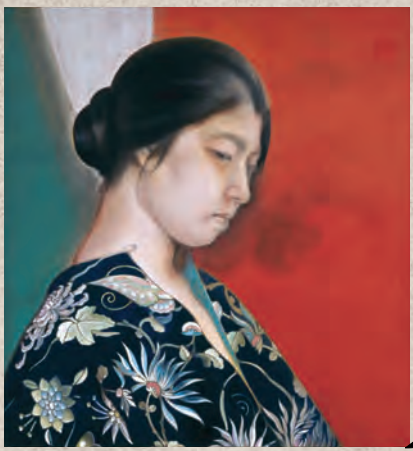
観覧料 一般1800円(1600円)、大学生1100円(900円)、高校生600円(400円) ※(内は前売および20名以上の団体(団体観覧の場合は事前に美術館に台間せたくさじ) ※中学生以下、母子家庭、父子家庭の世帯員の方、心身に障がいのある方とその付添者1名は無料(入館の際に証明できるものを提示ください) ※本料金をクレジットカードでもらうことができます ※前売券は1月10日(金)までの限定販売(チケット販売場所) オンラインチケット(美術館チケット) 02-7661-3212 / オンラインチケット(チケット) 02-7661-3212 / オンラインチケット(チケット) 02-7661-3212

1. 大正に於ける甲斐荘楠音 | 2. 大正に於ける甲斐荘楠音 | 3. (複製) 1916(大正5)年頃 | 4. 『珠光』 1916(大正5)年頃 | 5. 『珠光』 1916(大正5)年頃 | 6. 『珠光』 1920(大正9)年頃 | 7. 『珠光』 1920(大正9)年頃 | 8. 珠光の没後 | 9. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 10. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 11. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 12. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 13. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 14. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 15. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 16. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 17. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 18. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 19. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 20. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 21. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 22. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 23. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 24. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 25. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 26. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 27. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 28. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 29. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 30. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 31. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 32. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 33. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 34. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 35. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 36. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 37. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 38. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 39. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 40. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 41. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 42. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 43. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 44. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 45. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 46. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 47. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 48. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 49. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 50. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 51. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 52. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 53. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 54. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 55. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 56. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 57. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 58. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 59. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 60. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 61. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 62. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 63. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 64. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 65. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 66. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 67. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 68. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 69. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 70. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 71. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 72. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 73. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 74. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 75. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 76. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 77. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 78. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 79. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 80. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 81. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 82. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 83. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 84. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 85. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 86. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 87. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 88. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 89. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 90. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 91. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 92. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 93. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 94. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 95. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 96. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 97. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 98. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 99. 『珠光』 1915(大正4)年頃 | 100. 『珠光』 1915(大正4)年頃

序章 描く人

KAINOSHO Tadaoto:

Crossing Boundaries in Nihonga, Theater and Film
The National Museum of Modern Art, Kyoto

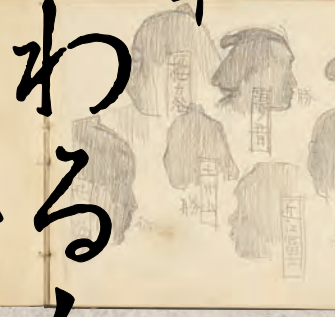


近年人気の高まりつつある日本画家、甲斐莊(甲斐庄)楠音。大正から昭和にかけて活躍した彼の画業をその代表作によってたどりながら、彼は何をどのように描いてきたのか、そして彼がどのような画家であるか、と見られてきたのかをあらためて顧みたい。本章だけでも、小さな甲斐莊楠音展としての内容を備えることになる。



第1章 こだわる人

甲斐莊は、似たポーズの人物像を繰り返し描いた画家だったが、スケッチ類を調べてみると、類似イメージ間の変化や、その動作に対する執拗な探求心に圧倒される。裸を「肌香」と言い表した彼は、形だけではなく香りや動きをも捉えようとしていたらしい。そうした彼のこだわりを、日本画とスケッチと写真資料から窺いたい。



第2章 演じる人

幼少から歌舞伎の観劇を好んだ甲斐莊は、以後も芝居には特別な関心を抱き、自ら女性として舞台上立つこともあった。そうした愛着や執念は、絵画制作にも反映されている。彼が描いた「美人」は、美人を演じる彼自身だったといっても過言ではない。扮すること、演じることへの彼の思いを、日本画・スケッチ・写真資料から窺いたい。



甲斐莊 絵画、演劇、映画を越境する個性 全貌

第3章 越境する人

15. 《娘子》1927(昭和2)年 | 16. 《横櫛》1916(大正5)年頃 | 17. 《秋心》1917(大正6)年 | 18. 《藤椅子に凭れる女》1931(昭和6)年頃 | 19. 歌妓のポーズをとる友人 | 20. 力士の頭部スケッチ集 | 21. 歌舞伎スケッチ(部分) | 22. 太夫に扮する甲斐莊楠音 | 23. 道行の女性に扮する甲斐莊楠音 | 24. 《道行》1924(大正13)年 | 25. 『旗本退屈男 謎の暗殺路』衣裳(部分)、衣裳製作者:三上剛、東映株式会社京都撮影所蔵 | 26. 映画公開:1960年、監督:松田定次、製作会社:東映株式会社、衣裳着用者:市川右太衛門 | 27. 《富生塚》1915(大正4)年頃 | 28. 《虹のかけ橋(七姉)》1915-1917(大正4~昭和1)年 | 所蔵記載のない作品は、全て京都国立近代美術館蔵。

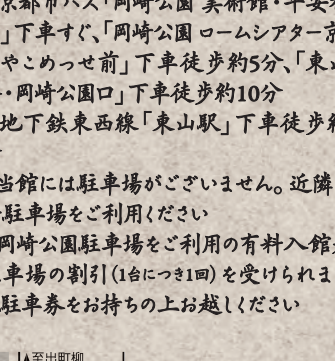


関連イベント
記念講演会
「甲斐莊楠音をとおりて 女装の時代を考へる」
講師=井上章一(国際日本文化研究センター所長)
日時=2023年2月23日(木・祝)14時~15時30分
会場=京都国立近代美術館1Fロビー
定員=先着100名・聴講無料・事前申込制

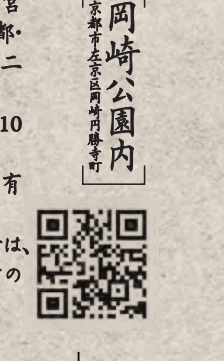
記念講演会
「太秦時代劇における 甲斐莊楠音の役割と功績」
講師=山口記弘(東映株式会社・経営戦略部フェロー)
日時=2023年3月4日(土)14時~15時30分
会場=京都国立近代美術館1F講堂
定員=先着80名・聴講無料・事前申込制
*お申し込みに関する詳細・最新情報やこの他のイベントについては当館ホームページにてご案内いたします。

https://www.momak.go.jp/

交通案内
●京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ、「岡崎公園 ロームシアター京都 みやこめっせ前」下車徒歩約5分、「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分
●地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約10分
*当館には駐車場がございません。近隣の有料駐車場をご利用ください
*岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越しください



京都国立近代美術館



2023 2.11 sat. 4.9 sun.



第3章 越境する人

証を手がけるようになった。好みの美男美女たちが演じてみせる情景のドラマを、画家ならではの彼のセンスが華やかに彩ったのである。太秦の東映京都撮影所に保管されていた市川右太衛門の衣裳を中心に、各種資料を交え、映画人としての甲斐莊の活躍を再考したい。

終章 数奇な人



大正期の日本画家として活躍したのち昭和期には映画界で活躍した甲斐莊。しかし映画界で活躍する基盤は幼少から育まれてきた。そして映画人として活躍する間も、絵画への思いは続いていた。彼の未完の大作がそのことを物語る。青年期から晩期まで制作し続けたそれらには、絵画や演劇・映像を越境して展開された彼の表現への意欲を強烈に感受できよう。

Epilogue: Kainosho the Wanderer